

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
1	看護師による静脈注射実施	厚生労働省の提示した方針に則り、看護学会が取りまとめたガイドラインに合わせ附属病院も含めた対策に従って実施
2	助産師外来の運用開始	助産師外来を設置
3	夜間緊急内視鏡施行時のサポート	看護師の負担軽減項目の<メッセージ業務の拡大>項目で継続実施
4	特定看護師・診療看護師の導入	特定看護師（診療看護師）卒後研修の実施
5	医師の労働時間短縮に向けた取組み	尿道カテーテルを看護師が挿入できるシステムの構築
6	看護補助者の配置	看護補助者を積極的に配置し、本来の看護業務が十分発揮できるような環境を整備
7	看護記録の業務の効率化を図る取組	①入退院支援介入：支援対象患者の対応率の上昇 ②PDA機能の拡大に伴う活用
8	プラチナナース活用制度の促進	定年退職後の勤務継続看護師の活躍の場の提供 各病棟看護師の患者対応に沿い、看護の質向上に向けたサポート体制
9	ベッドメイキング・ベッド清掃作業者の整備	ベッドメイキング・ベッド清掃担当者を整備し、業務の効率化に貢献
10	医師の外来診療業務の補助	診療アシスタント研修後は、予約変更の実施など可能
11	メッセージ業務の拡大	院内の物品の搬送・補充、検体検査室等への移送業務を拡大し、平日のみでなく、院内の物品運搬システムを夜間帯や休日についても実施
12	病棟で看護師が実施している薬剤関連業務の委託できる業務の検討	病棟薬剤業務について、薬剤師へ業務移行できる内容について、リニューアルに向け検討
13	現行制度下で、薬剤師を積極的に活用する。	医師の指示による代行入力など薬物治療に関わる範囲に積極的な支援に活用
14	患者サポートセンター業務の充実	入院中のリスクを軽減するための、内服薬チェック範囲の拡充
15	糖尿病教育入院患者への栄養指導の実施 ↓ 教育入院患者等への栄養指導の実施	バス入院を含む糖尿病教育入院患者の情報共有および栄養指導の実施 ↓ 教育入院患者等に対し、対象者抽出、医師へのオーダー依頼、予約取得、栄養指導の実施、を自動的実施
16	術前外来にて、患者情報、アレルギー情報取得	術前外来にて、入院前に患者情報（身長、体重、栄養スクリーニング項目）、アレルギー情報を取得
17	入退院支援の推進により、入院前に患者情報、アレルギー情報を取得	入退院支援にて、入院予約時に患者情報（身長、体重、栄養スクリーニング項目等）、アレルギー情報を取得
18	消化器手術目的の入院患者に対する術前体液量測定	消化器手術予定患者において、術前に体液量（In body）測定を実施、栄養状態の評価に活用
19	検査後食の導入	衛生面の問題、食事の無駄削減のため、検査にて定刻に食事がとれない患者に対して、検査後食を導入
20	適正な人員確保	管理栄養士の人員確保
21	リハビリテーション診療体制の確立	診療報酬の施設基準を満たす診療体制の確立

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
22	病棟業務負担軽減	病棟内リハビリテーション実施件数増加を図り、患者搬送業務のリスクと回数の軽減
23	適正な人員確保	リハビリスタッフの人員確保
24	臨床工学技士の当直	当直体制安定のため、当直可能な能力を有する対象者の早期育成
25	臨床工学技士の積極的な活用	令和元年度は院内の医療機器の所在確認に係わったが、そのデータを基に新病院の医療機器整備に活用
26	検査技師による病棟採血	病棟に検査技師を配置し病棟採血業務を支援
27	読影の補助	消化管造影検査時テクニカルレポート、大腸CT術前CTC作成、乳房撮影レポート作成、健診画像チェックレポート作成等を補助
28	持ち込み画像情報の取り込み、照会先へのCD-R作成部門の設立	医師がスムーズに画像データを読影できるように持ち込み画像データのPACSへの取り込み、紹介先へのCD-R作成業務等専門で行う部門を設置
29	放射線被ばくの説明と相談	医療被ばく事例報告書を作成、低被ばく化を促進すべく説明や相談を実施
30	ポータブル撮影の即応体制と誤認防止	ipadを導入し、そこでオーダー受け、依頼目的確認、検査終了が行えるようになった。病棟のPDA回線で画像配信することで必要に応じてすぐに画像配信できるようになった。
31	OP室での撮影で強調画像付加	全例について強調画像を付加して配信している。術後のガーゼなど異物の体内遺残の発見に寄与できるよう調整した画像であり医療事故低減に役立っていると思われる
32	入退院業務のサポート体制の強化	入退院支援を更に充実させ、医師・病棟看護師の負担軽減を促進し、体制の強化を行う
33	手術室麻酔科医師の実施入力業務補助	手術部業務の効率化のため、医事課保険請求経験者を手術室に派遣し、実施登録画面での麻酔方法、麻酔使用薬剤、保険算定術式等の入力業務の補助を行う
34	医師事務作業補助者の充実	人数を増員し、医師の事務負担軽減
35	電話予約変更センターの業務拡充	午前中から予約変更業務を実施
36	院内保育園の定員充足	拡充した利用定員の効果的な運用
37	外国人患者への対応	県の補助金を活用したタブレット端末の追加
38	当直体制の見直し	予定上の連続当直の原則禁止、予定手術前日の当直に対する配慮、当直翌日の業務内容に対する配慮等を行い、管理運営会議・業務負担軽減検討委員会において周知
39	医師の短時間勤務制度の導入	女性医師の働きやすい環境を目指して、短時間勤務制度の導入
40	福利厚生の一層の充実	ワークライフバランスの促進